

高川小だより

令和5年(2023年)9月27日

発行者: 校長

高川小HPはこちら➡



9月29日は創立記念日

昭和42年(1967年)9月29日に、豊中市議会で豊中市の第26番目の小学校として高川小学校の開校が決定されました。この日が高川小学校の創立記念日です。高川小学校は今年で56歳になります。



昭和43年(1968年)4月、第1回入学式は豊南小学校で行われました。

1学期は豊南小学校の校舎を借りていましたが、現在の北館が完成し、2学期から、1年生から3年生の児童272名と教職員14名で学校生活がスタートしました。1969年には南館、1970年には体育館と中庭、1971年にはプール、1975年には新館(東館)、1980年には北校舎と南校舎を結ぶ渡り廊下が完成して、施設が整いました。1980年には、児童数が歴代最高の1033名、学年5クラスのところもあるマンモス校になりました。その後、体育館改修、プール移転、耐震補強工事、空調設備交換、今年は渡り廊下の耐震補強工事も行われ、今の姿になりました。

校章

昭和43年(1968年)5月15日に高川小学校の校章が定められました。

まわりの枠は、豊中市章です。中央は校名です。校名の左右のマークは、高川小学校の元気な明るい子どもたちがすくすくと育っていく様子と緑の木々が茂っていくことをあわせて表しています。『高川小学校の児童が、いつまでも健康で立派に成長してほしい』という願いが込められています。



豊中市章



高川小学校校章

矢印のようなマークは、子どもたち・木々を表しています。

保護者や地域のおもい

どっかり山、中庭の池や大きな石、学校を取り囲む木々などは育友会と地域の方による手作りで、また、安全な通学のために歩道橋の建設にも関わってくださいました。環境面だけではありません。「高川まつり」、「合同作業」、「新春の取組み」などは、今も続けられている高川の伝統行事です。高川小学校は保護者や地域の方の「少しでもいい環境で勉強してほしい」、「何か子どもたちのためにできることはないのか」というおもいがいっぱいだった学校です。



どっかり山



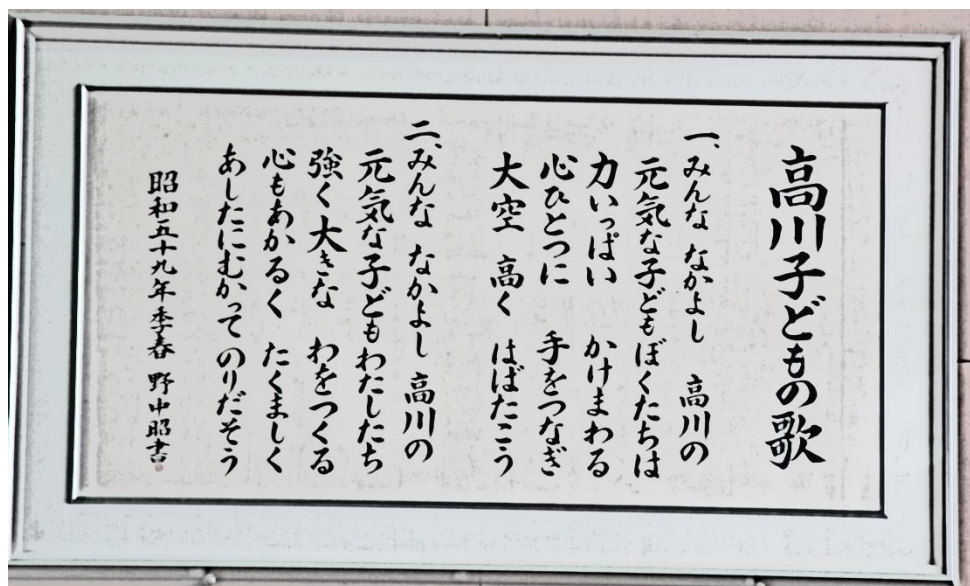
池の横の石（福井県から運んできたそうです）

高川子どもの歌

体育館に「高川小学校校歌」と「高川子どもの歌」の2つの歌の歌詞がはってあります。

「校歌」は、昭和 57 年度（1982 年度）に制定されました。作詞は船曳逸男さん（高川小学校第四代校長）、作曲は鎌谷静男さんです。

「高川子どもの歌」について調べてみたら、昭和 55 年度（1980 年度）の卒業アルバムに歌詞が載っています。それ以前のアルバムには載っていないので、いつからあったものなのか分かりませんが、おそらく、校歌ができるまで校歌の代わりに歌われていたのではないかと思います。



<保護者のみなさま>

- ・授業参観、懇談会に多数参加していただき、ありがとうございました。
- ・9月は例年以上に暑い日が続きました。10月もまだ暑いという予想もあります。これから運動会に向けての練習時間が増えていきますが、熱中症に気をつけながら取り組んでいきます。また、新型コロナやインフルエンザの感染者が増えているようです。学校では換気をし、手洗い・うがいの指導もしていきます。ご家庭でもお声かけください。